

平成26年度
「 基盤整備 」
事業報告書

平成27年3月

一般社団法人 日本船舶品質管理協会

基盤整備事業は、本会の自己資金及び日本財団の助成金により実施する事業であって、平成26年度は、次のとおり5事業を実施した。

1 品質管理調査研究

事業場における自主検査体制の合理化又は品質の改善を推進するため、各種の調査研究を行い、関係先に対して意見交換、意見具申等を行うことを目的とし、次の事業を行った。

いずれも目標を達成することができた。

(1) 船用品の改善・品質管理に関する調査研究

新たに型式承認された物件を調査、整理し、「国土交通省型式承認物件一覧表」（平成26年版）を作成し、会員、関係機関等に配付した。

(2) 業種別部会の開催

① 救命艇装置部会の開催

平成26年度は1回開催し、国内向け救命艇装置整備技術講習会の開催について平成25年度実施したアンケート結果から参加希望があったため、平成26年度の講習会は、国内・海外向けの合同講習会を開催することとなった。

2 指導

船舶検査制度の適正、かつ円滑な運用に資するため、必要な指導や情報提供等を行うことを目的に、次の事業を行った。いずれも目標を達成することができた。

(1) 製造認定事業場継続調査指導

船用機器等の製造認定事業場29事業場の継続指導を実施した。そのうち、3事業場については、製造に必要な施設や関係書類の継続調査指導に加え、当該事業場が認定を受けてから5年目に該当したため、更新申請のための指導、助言並びに関係書類の確認を行った。また、更新に際しての現地審査の立ち会い指導を3事業場について実施した。

更に新規事業場の現地審査の事前指導並びに現地審査立ち会いを3事業場について実施した。これらのことから、認定事業場制度に基づく当該事業者の品質管理体制の維持、向上を図ることができた。

(2) 船用品整備事業場巡回調査指導

膨脹式救命いかだ整備認定事業場の10事業場及びGMDSS救命設備整備証明事業場の10事業場の巡回指導を実施した。

この中で、整備に必要な施設、関係書類等について厳正な維持、管理に努めるよう指導するとともに、GMDSS救命設備の整備に必要なシールドルームの電波漏洩状況を測定調査し、電波遮蔽状況が規定値内にあることを確認した。これらのことから、整備認定事業場等の品質管理体制が適切に維持されていることが確認できた。

(3) 製造認定事業場新規指導

認定事業場の申請を希望する2事業者に対し会員への参画を勧誘し、2事業者の新規取得の為の指導を実施した。

(4) 内燃機関整備事業場調査指導

整備事業場認定制度の取得を予定している内燃機関整備事業者1事業場の指導を行い、整備規程及び添付書類を作成したが品質上の事情により申請を見送らざるを得なかった。引続き来年度も申請提出に向けて指導と準備を進める。

(5) 船用品整備情報の集中管理

当会では、整備物件管理システムを用いて、膨脹式救命いかだ整備事業場及びGMDSS救命設備整備事業場における膨脹式救命いかだ及びGMDSS救命設備の整備情報を集中管理し、会員へ整備情報を提供するとともに、海難発生時等における関係者からの問い合わせに対処し、また、各種統計資料の作成等に活用している。

平成26年は、膨脹式救命いかだ8,210台、GMDSS救命設備9,662台の整備情報を入力した。また、整備事業場からの問い合わせは843件あり、情報提供を行った。

(6) 型式承認物件の承認、変更等に関する指導

関係事業者からの型式承認物件の承認あるいは変更の手続き等についての問い合わせに対応し、適宜指導を行った。

(7) GMDSS救命設備積付け講習会・研修会の開催

GMDSS救命設備積付け技術者を養成するため、新規資格取得者のための講習会を開催し、30名が合格して新たにGMDSS救命設備積付け資格者として認定された。

また、GMDSS救命設備積付け資格者の技能の維持、向上を図るための研修会を開催した。

[講習会]

実施日	場 所	実 施 内 容
H26. 10. 23(木)	東京海洋大学 越中島キャンパス (東京都江東区) (受講者 31名)	学科：①船舶安全法及び関係法令 ②積付け(積み降ろし)要領と留意事項 実技：積付け、外観点検時の注意事項 技量認定試験：学科、実技

[研修会]

実施日	場 所	実 施 内 容
H26. 10. 24(金)	東京海洋大学 越中島キャンパス (東京都江東区) (受講者 44名)	学科：①船舶安全法及び関係法令の改正点 ②機器取扱い上の留意事項 ③積付け(積み降ろし)時の留意事項 実技：積付け、外観点検時の注意事項
H26. 11. 20(木)	大阪リバーサイド ホテル (大阪市) (受講者 40名)	

(8) 磁気コンパスアジャスタ講習会・研修会の開催

日本コンパスアジャスタ協会と共催で、平成26年度は新規資格取得のための講習会（B講習会）を開催し、4名が合格して新たにコンパスアジャスタの資格を取得した。

また、コンパスアジャスタ（有資格者）の技能の維持、向上を図るための研修会を開催した。

[B講習会]

実施日	場 所	実 施 内 容
H26. 8. 25(月) ～ H26. 8. 28(木)	東京海洋大学 品川キャンパス (東京都港区) (受講者 5名)	1. 時差理論、自差修正 2. 傾船差理論、傾船差修正 3. 自差修正実技 4. 技量認定試験(学科、実技)

[研修会]

実施日	場 所	実 施 内 容
H26. 6. 24(火) ～ H26. 6. 25(水)	ホテルリソル函館 (函館市) (受講者 4名)	1. 南半球へ航海する船舶の過大自差発生対策 ーフリンダースパーの適正な使用法ー 2. 自差修正に関する質疑応答 (受講者合計 43名)
H26. 7. 24(木) ～ H26. 7. 25(金)	アルカス佐世保 (佐世保市) (受講者 29名)	
H26. 8. 25(月) ～ H26. 8. 26(火)	東京海洋大学 品川キャンパス (東京都港区) (受講者 10名)	

(9) イマーション・スーツ整備技術講習会・研修会の開催

IMO の基準に定められた有資格者による点検整備要領に対応するため、資格を有する技術者の養成、確保を図ることを目的として、イマーション・スーツの保守点検整備に従事しようとする者を対象に、会員のイマーション・スーツ製造事業者3社と共同で講習会及び研修会を開催し、所期の目的を達成した。

この講習会の結果、6名を新たにイマーション・スーツ整備技術者として認定した。

また、平成22年度に実施した第4回講習会において整備技術者資格を取得した11名及び同年度に実施した第1回研修会において資格を更新した47名が平成26年3月31日で有効期限が到来するため、これらの資格保有者計39名を対象にイマーション・スーツ整備技術研修会を開催し、受講者全員の資格を更新した。

なお、研修会については、当初、平成26年10月15日、16日の2日間にわたって実施す

ることとして準備を進めてきたが、開催直前になって台風19号が関東地方に接近することとなったため、1日目の10月15日のみ開催を中止し、日を改めて平成27年1月20日に開催した。

[イマーション・スーツ整備技術講習会]

実施日	場 所	実 施 内 容
H26. 10. 16 (木) ～ H26. 10. 17 (金)	東京海洋大学 越中島キャンパス (東京都江東区) (受講者： 6名)	講義 1. 関係規則、整備要領 2. 構造材料等 実技 1. 点検整備 2. 気密試験、 3. 補修 4. 着用実習

[イマーション・スーツ整備技術研修会]

実施日	場 所	実 施 内 容
[第1回] H26. 10. 16 (木)	東京海洋大学 越中島キャンパス (東京都江東区)	講義 1. 関係規則、整備要領 2. 構造材料等 実技
[第2回] H27. 1. 20 (火)	(受講者) : [第1回] 15名 [第2回] 24名	1. 点検整備 2. 気密試験、 3. 補修



実技講習 (気密試験)



実技講習 (着用実習)

(10) 膨脹式救命胴衣等整備技術講習会・研修会の開催

膨脹式救命胴衣、作業用救命衣(膨脹式)、膨脹式救命浮環等の点検整備を行う者の整備技術の向上を図るため、会員の膨脹式救命胴衣等及び部品の製造事業者10社と共同で講習会を開催し、初期の目的を達成することができた。

この講習会の結果、17名を新たに膨脹式救命胴衣等整備技術者として認定した。また、平成22年度に実施した第2回講習会において整備技術者資格を取得して、平成27年3月31日で有効期限が到来する整備技術者16名を対象に膨脹式救命胴衣等整備技術研修会を開催し、受講者全員の資格を更新した。



実技講習（構造説明）

[膨脹式救命胴衣等整備技術講習会]

実施日	場 所	実 施 内 容
H26.7.29 (火) ～ H26.7.30 (水)	東京海洋大学 越中島キャンパス (東京都江東区) (受講者：17名)	講義 1. 関係規則、整備要領 2. 構造材料等 実技 1. 点検整備、部品交換 2. 折り畳み・収納

[膨脹式救命胴衣等整備技術研修会]

実施日	場 所	実 施 内 容
H26.7.30 (水)	東京海洋大学 越中島キャンパス (東京都江東区) (受講者：16名)	講義 1. 関係規則、整備要領 2. 構造材料等 実技 1. 点検整備、部品交換 2. 折り畳み・収納

(11) 船舶用消防設備整備技術講習会の開催

船舶用消防設備の点検整備を行う技術者の養成を行うことを目的として平成23年度以降実施してきた船舶用消防設備整備技術講習会については、より実効性のある講習会・研修会とするために内容の見直しを行うこととして、今年度は実施しなかった。

(12) 品管時報及びSSニュースの刊行

定期的な刊行物として、国際海事機関(IMO)の船用品等に関する技術要件改正作業の動

向、国内関係法令の改正、通達等の内容、その他会員の参考となる各種情報を内容とする品管時報及びSSニュースを発行した。

(13) ホームページによる情報提供

ホームページを適宜更新し、会員をはじめ多くの海事関係者に対して船用機器や船用品の製造・整備に関する各種情報を提供した。

3 救命艇装置の安全性向上のための人材養成

SOLAS 条約の改正により救命艇及び進水装置（救命艇装置）の整備については有資格者による年次点検等が義務づけられたことに対応し、点検整備を行う有資格者の養成、確保することを目的に、平成17年度から会員の救命艇装置事業者9社と共同して講習会を開催している。

平成26年度は海外及び国内の事業所に所属する技術者を対象とした海外／国内向け講習会を1回開催した。講習会には、海外26事業場から42名、国内10事業場から15名が参加し、講習5日及び試験1日を実施した。57名全員が試験に合格し、合格者に対し救命艇装置整備技術者の資格を付与した。また資格の有効期限が到来する救命艇装置整備技術者の資格更新のための研修会を3回開催し、受講者87名の資格を更新した。

平成25年度以降、自由降下式救命艇の離脱装置、救助艇の離脱装置及びFRP補修機材等を教材として追加整備した。そしてこの教材を利用して、講習会、研修会ともに、従来の研修内容に追加して自由降下式救命艇装置、救助艇装置の整備、FRP補修等に関する研修を行った。また、自由降下式救命艇装置の駆動式模型を製作し、平成27年度の講習会・研修会から教材として活用することとしている。

[救命艇装置整備技術講習会]

実施日	場 所	実 施 内 容
H26. 9. 8(月) ～ H26. 9. 13(土)	東京海洋大学 越中島キャンパス (東京都江東区) (海外/国内向け講習会) (受講者 海外42名、 国内15名)	学科講習 1. 救命艇装置整備の背景、事故事例、関係規則 2. 救命艇の基礎知識、構造、操作要領、保守点検整備要領 3. 離脱装置の基礎知識、構造、操作要領、保守点検整備要領 4. 進水装置の基礎知識、構造、操作要領、保守点検整備要領 実技講習 1. 救命艇装置の操作、保守点検整備 2. 離脱装置の操作、保守点検解放整備 3. ボートウインチの保守点検解放整備 4. FRP製救命艇の補修要領 技量認定試験 1. 学科試験 2. 実技試験

[救命艇装置整備技術研修会]

実施日	場 所	実 施 内 容
H26. 8. 19(火) ～ H26. 8. 20(水)	東京海洋大学 越中島キャンパス (東京都江東区) (海外向け研修会) (受講者 37名)	学科講習 1. MSC/Circ. 1206/rev. 1 等の改正と救命艇の整備に対する PSC の結果について 2. 救命艇装置の整備点検における問題点について
H26. 8. 21(木) ～ H26. 8. 22(金)	東京海洋大学 越中島キャンパス (東京都江東区) (国内向け研修会) (受講者 21名)	3. 進水装置の整備点検における問題点について 実技講習 1. 離脱装置のトラブルシューティングと部品交換要領
H27. 3. 2(月) ～ H27. 3. 3(火)	東京海洋大学 越中島キャンパス (東京都江東区) (海外/国内向け研修会) (受講者 29名)	2. ウインチの不具合事例と各種部品交換要領 3. 救命艇・進水装置の保守点検時の不具合事例と対処要領 4. FRP 製救命艇の補修要領



講習会 (H26. 9. 8～13)



研修会 (H26. 8. 19, 20)

4 相談

検査制度及び品質管理全般について、会員或いは一般からの相談、質問等を受け、適宜対応した。これらの各相談、質問等については、必要に応じ関係官庁、関係機関等と連絡をとりながら、対応した。

5 刊行物

平成26年度の基盤整備事業に係る刊行物は、次のとおりである。

- (1) 品管時報 (6回)
- (2) SS ニュース (3回)
- (3) 国土交通省型式承認物件一覧表